

活動報告

団体名	NPO 法人リエラ
活動名	大分県の被災者のための災害復旧支援事業
活動期間	2020/07/07~2020/08/31
活動の成果	<p>緊急期（7月～8月）における支援目標として、3年前の九州北部豪雨時の反省点であるボランティアセンターで受け付ける泥出し等の作業系ニーズのニーズ漏れを出さないこと、また熊本の被災やコロナ禍であることから可能な限り日田への支援・応援を受け入れることを目指した。</p> <p>■成果（1）日田市災害ボランティアセンター運営支援について（日田市災害VC：対応ニーズ件数 283件、受け入れボランティア数 2455名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発災直後に、日田市社協と泥出しニーズの線引きについて確認し、「被災の中心となった天ヶ瀬旅館街の被災者の生活再建を考えると住家問わず、商店や旅館など全て対応しよう」と方向性が決まった。そのため、ボラセン開設中にほぼ全ての受付ニーズに答えることができ、また当法人も協力させていただき、ニーズ調査及び完了後の訪問調査など可能な限り在宅訪問を行った。ボラセン閉所後もニーズが上がってくることはほぼなく、感謝の言葉が日田市社協に届いている。 <p>■成果（2）天ヶ瀬温泉未来創造プロジェクト（あまみら）との連携による多様な災害支援活動</p> <p>H29年九州北部豪雨で当法人の前身団体が被災者支援を行ってきたが、被災地の復興を考えると被災者一人ひとりの生活再建だけではなく、被災地全体で地域の復興を考えるまちづくりの両輪が必要だと感じていた。今回の7月豪雨災害において、当法人がボラセン運営支援、在宅や避難所対応などを行う中で、あまみらにはボラセンでボラリピーターを増やすために観光案内や旅館の状況などを説明してもらったり、旅館街のあかりを灯す竹灯籠など、それぞれの役割で連携しつつ災害支援活動を行うことができた。今後もそれぞれの役割で連携しつつ多様な被災者ニーズに対応していきたい。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>コロナ禍で世界的に不況な中、被災地に目を向けていただき、ご寄付をいただき感謝申し上げます。ご寄付をいただくことで、被災者支援活動が息長く継続的に行えますが、更にこうした状況の中でも温かい気持ちで地元支援団体として心強く思っています。当法人リエラのフェイスブックページに日々の活動状況等をアップしておりますので、ご覧いただければ幸いです。7月豪雨から約5ヶ月が経過、現地で活動するボランティアも少なくなり、季節も変わり体調を崩す被災者もおられます。報道も少なくなる中で現地支援団体として引き続き情報発信もおこなって参りますので、引き続きご支援のほどよろしく願いいたします。</p>

（活動のようす）

